

## 採点基準 英語

### 【1】-A (10点満点)

(A) 以下の英文を読み、その内容を70~80字の日本語で要約せよ。句読点も字数に含める。

【例1】建築の美醜は時代によって変わり、装飾の多いものから単純なものへと好みが変化したように、人々はその社会に欠けている価値観を体現している建築物を美しいと考える。(78字)

【例2】建築の美しさは時代とともに変化し、昔は装飾性が称賛されたが現代はシンプルなものが美しいとされる。人はその時代に欠けている価値観を体現する建築物に美しさを感じる。(80字)

必須項目 (10点)	<p>① (4点) 「我々は自分の価値観を反映している建築物を美しいと言うが、<b>どのような建物が美しいかについての考え方は、時代とともに変化する</b>」 We call a <b>building beautiful</b> if it reflects our values. But ideas about what buildings have these qualities <b>change over time</b>.</p> <p>▶ (2点) 「<b>どのような建物が美しいか</b>」が<u>ない</u>ものは<b>2点減点</b>。 ×「建設」は「建物」と認めない。 ×「建物」が抜けており、ただ「美しさ」としているものは不可。</p> <p>▶ (2点) 「<b>時代とともに変化する</b>」(<b>change over time</b>)が<u>ない</u>ものは<b>2点減点</b>。 ×「時代により異なる」は「時代とともに変化する」と認めない。</p> <p>② (2点) 「昔は精巧さや多様さや装飾が称賛されたが、鉄骨とコンクリートという新技術は建築とデザインに革命を起こし、<b>シンプルなものが美しいという考えに変わった</b>」 <b>For several hundred years</b>, elaboration, variety, and decoration in architecture were almost universally admired. The new technology of iron framing and concrete gradually revolutionized construction and design. Eventually, <b>for early-twentieth-century modernists</b>, only undecorated <b>simplicity was beautiful</b>; all decoration was ugly and excessive.</p> <p>▶ (2点) 「<b>シンプルなものが美しい (simplicity was beautiful)</b> という考えに変わった (For several hundred years...と for early-twentieth-century modernists...の対比関係から)」に相当するものが<u>ない</u>ものは<b>2点減点</b>。 ×「単調」は「シンプル」と認めない。 ×simplicityに「シンプリシティ」は不可。 ×「昔の美しさ (=精巧さや多様さや装飾)」の言及がある場合、「シンプル」との論理関係が誤っている場合は、<b>2点減点</b>。</p> <p>③ (4点) 「人々は常に現在の価値観を体現する建物よりも<b>社会に欠けている価値観を体現する建物を美しいと思ってきた</b>」 An interesting feature about architecture is that <b>people have always found buildings beautiful</b> not so much when they embody current values, as when <b>they embody values that society lacks</b>.</p> <p>▶ (2点) 「<b>社会に欠けている価値観を体現する (they embody values that society lacks) 建物</b>」に相当するものが<u>ない</u>ものは<b>2点減点</b>。 ×「価値観」(values)に相当するものが<u>ない</u>ものは不可。<b>2点減点</b>。 ×「they」の指すものが誤っている (buildings でない) 場合は<b>1点減点</b>。</p> <p>▶ (2点) 「<b>美しいと思ってきた (people have ... found buildings beautiful)</b>」に相当するものが<u>ない</u>ものは<b>2点減点</b>。</p>
---------------	---

× 「美しい」 (beautiful)に相当するものがないものは不可。 **2点減点**。

× 現在完了形(have found)の訳は、「思った」など過去時制にしか取れないものは **1点減点**。

1. 内容の不足は上記配分で減点。内容の順序は問わない。
2. その他，誤訳，不適切な表現は1箇所につき2点減点。
3. 字数制限を満たさないものは0点。

【2】－A (12点満点)

(A) コロナ禍においてあなたが得た教訓・気づきを一つ挙げ、それについてあなたの思うところを、60～80語の英語で述べよ。

【例1】

I realized that even in our modern age of scientific and technological advancement, viruses are a real threat to civilization. We knew that germs such as viruses and bacteria have repeatedly shaken the world throughout history, but most people today were not fully aware the risks continue today. While advanced technology enabled vaccines to be produced at an unprecedented pace, there were also worldwide struggles for vaccines. We must prepare more for the germs that will arise in the future. (80語)

(科学技術が進歩した現代においても、ウイルスは実際に文明を脅かすものであることを実感しました。私たちは、歴史を通じて、ウイルスや細菌などの病原体が繰り返し世界を揺るがしてきたことを知っていましたが、多くの現代人は、その危険性が今も続いていることを十分認識していませんでした。技術の進歩により、かつてないスピードでワクチンを製造できた一方、ワクチンをめぐる世界的な争いも起きました。私たちは、将来発生するであろう病原体に対して、今以上に備えなければなりません)

【例2】

Through the coronavirus crisis, I have learned that people around the world have diverse ways of thinking. Some countries had strict lockdown policies, while others sought to achieve mass immunity. In Japan, people continued wearing masks while people in other countries had long since stopped wearing them. Regardless of which is correct, such a variety of trial-and-error processes are sure to be beneficial. We should have diverse viewpoints without being bound by our own assumptions. (75語)

(コロナウイルスの危機を通じて、私は世界の人々の考え方が多様であることを知りました。厳しいロックダウン政策をとる国もあれば、集団免疫を目指す国もありました。日本ではマスク着用を続けましたが、他の国ではとっくにマスク着用をやめていました。どちらが正しいかは別として、こうした様々な試行錯誤の積み重ねが有益であることは確かです。私たちは自分自身の思い込みにとらわれず、多様な視点を持つべきです)

【例3】

The COVID-19 pandemic made me keenly aware of the importance of meeting people in person. Classes went online and many school events were canceled. While it is wonderful that technology makes it possible to easily connect online, I realized how valuable the casual conversations I used to have with friends at school were for my emotional well-being. Now that I am back in the classroom, I cherish my face-to-face time with friends more than ever. (75語)

(新型コロナウイルスの大流行で、私は人とじかに会うことの大切さを痛感しました。授業はオンライン化され、多くの学校行事が中止されました。テクノロジーによってオンラインで簡単につながることができるようになったのは素晴らしいことですが、学校で友人と交わっていた何げない会話が、自分の心の健康にとってどれほど貴重なものであるかを思い知らされました。教室に戻った今、私は友人と顔を合わせる時間をこれまで以上に大切に思っています)

1. 文法・語法・構文・綴りの誤りは1箇所につき2点減点。同じ誤りでもすべて減点。
2. 語数制限(60～80語)を満たさないものは0点。
3. 内容面で下に該当するものは、それぞれ該当の点数を減点。

ポイント1 「コロナ禍においてあなたが得た教訓・気づき」

- \* 「コロナ禍」の説明に終始して、「コロナ禍においてあなたが得た教訓・気づき」について述べていないものは**6点減点**。
- \* 「コロナ禍」について、事実と異なることを書いていたり、無関係なことを書いているものは**6点減点**。

ポイント2 「それについてあなたの思うところ」

- \* 「コロナ禍においてあなたが得た教訓・気づき」をただ説明しているだけで、「それについてあなたの思うところ」がないものは**6点減点**。
- \* 論旨が一貫していない論旨に無理がある/途中で論点が逸脱しているものは**6点減点**。

\* 語数を増やすため設問とは無関係なことを述べて脱線しているものは、その部分を**6点減点**。

【2】－B (12点満点)

(B) 以下の下線部を英訳せよ。

「百年の計」という言葉を見ることも聞くこともなくなって久しいように思う。昔の人は、その日を生きるのにも大変だった中で、水害を防ぐために堤防を築いたり、家屋や農地を風害から守るために防風林を作ったりしてきた。そこには、自分たちだけでなく先々の子々孫々のためにという思いが強くあった。最近、気候変動が何かと話題になるが、それにつけても、現代人はヴィジョンに欠けるきらいがある。目先の利益からいったん離れてみようではないか。たとえ生きている間に結果を見届けることができなくても、後世の人々の幸せに思いを馳せ、今やるべきことを見定めて行動する気概を持ちたいものだ。

【例1】

Let us step away from immediate profit for a moment. We should be willing to think about what needs to be done now and act for the happiness of future generations, even if we cannot see the results during our lifetime.

(当面の利益からしばし離れてみよう。我々は将来の世代の幸福のために、今する必要があることについて進んで考え行動するべきだ、たとえ我々が生きているうちにその結果を見ることができないとしても)

【例2】

We should put aside short-term benefits for now. I hope we will actively care about the well-being of our descendants, and also be willing to consider what to do for them now and act accordingly, even if we don't live to see the fruits of our efforts.

(我々は当面短期的な利益を忘れるべきだ。私は我々が積極的に子孫の幸福のことを気かけ、また、子孫のために今すべきことを考えてそれに従って行動するのをいとわなないことを望む、たとえ我々が生きて努力の成果を見ることがなくても)

【例3】

Why don't we ignore our short-term interests for a bit? Even though we may not know the outcome during our lifetime, I think we must be willing to act taking into account the well-being of later generations when considering what we should do now.

(少しの間短期的な利益を無視してみようではないか。我々は生きている間に結果を知ることはないかもしれないが、今すべきことを考えながら後の世代の幸福を考慮して自ら進んで行動しなければならないと私は思う)

【例4】

Let's stop thinking about our present interests for a short time. Even if we can't see the results during our lives, we should aspire to think about the happiness of the people in the future, and to consider and do what we can do for them now.

(少しの間、現在の利益を考えるのをやめてみよう。たとえ生きているうちに結果を見ることができなくても、未来の人々の幸せについて考え、彼らのために今できることをよく考えて実行することを志すべきだ)

1. 文法・語法・構文・綴りの誤り、不適切な訳語…すべて1箇所につき**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。
2. 以下の①～⑥の区分に指定の得点を配分。

【問題】

目先の利益からいったん離れてみようではないか。たとえ生きている間に結果を見届けることができなくても、後世の人々の幸せに思いを馳せ、今やるべきことを見定めて行動する気概を持ちたいものだ。

- ①「目先の利益からいったん離れてみようではないか」(2点)
- ②「たとえ～(する)ことができなくても」(2点)
- ③「生きている間に結果を見届ける」(2点)
- ④「後世の人々の幸せに思いを馳せ」(2点)
- ⑤「今やるべきことを見定めて行動する」(2点)
- ⑥「気概を持ちたいものだ」(2点)

※「気概を持ちたい」の訳として「I want to…」は不可。

【4】－B（ア）（4点満点）

<問題部分>

There is something about reading a book in its raw form that helps me get into the head of the author;

<例 1>

生の形の本を読むことには、私が筆者の頭の中に入りこむ一助となる、という面がある。

<例 2>

生原稿で本を読むことには何か特別なものがあり、私が著者の頭の中に入るのを助けてくれる。

区分	配点	具体事例
There is something about reading a book in its raw form 生の形の本を読むことには何かがある	2点	<p>×there is ～構文だとわかっていないものは不可。</p> <p>×reading a book in its raw form を動名詞句ととっていないものは不可。</p> <p>×There is something in its raw form (×生の形の何かがある) ととっているものは不可。</p> <p>×form に「フォーム/型」は不可。</p>
[something] that helps me get into the head of the author 私が著者の頭の中に入り込むのを助ける[何か]	2点	<p>×that が something を先行詞とする主格の関係代名詞だとわかっていないものは不可。</p> <p>×&lt;help O 原形&gt;の構文だとわかっていないものは不可。</p> <p>×me の訳抜けは不可。</p>

1. 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
2. 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
3. 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（イ）（4点満点）

<問題部分>

The story itself is about the title character's sudden exile from his four very closest friends, for no apparent reason, and his long journey back from the pit of despair this throws him into.

<例 1>

ストーリー自体は、表題の主人公が仲の良い4人の仲間から、よく理由も分からぬまま突然排除されて、絶望の淵に落とされ、そこからまた這い上がってくる長い旅を描くものだ。

<例 2>

物語の内容は、作品名にある中心人物が、4人の大親友から突然、明らかな理由もなく仲間外れにされ、そのことによって投げ込まれた絶望のどん底から立ち直るまでの長い旅路を描いたものである。

区分	配点	具体事例
The story itself is about ～ 物語自体は～についてである	1点	<p>×is をこの文の主動詞と分かっていないものは不可。</p> <p>×is を過去形で訳しているものは不可。</p> <p>×about の訳抜けは不可。</p>
the title character's sudden exile from his four very closest friends, for no apparent reason, 表題の登場人物の、はっきりとした理由もない、4人の親友からの突然の追放	2点	<p>×sudden の訳抜け・誤訳は不可。</p> <p>×four の訳抜け・誤訳は不可。</p> <p>×for no apparent reason を sudden exile 以外に掛けているものはこの項目の減点。</p> <p>×apparent の訳抜け・誤訳は不可。</p>
～ and his long journey back from the pit of despair this throws him into. ～と、これが彼を投げ込んだ絶望の淵から戻る彼の長い旅	1点	<p>×and が exile と journey を結ぶ接続詞だとわかっていないものは不可。</p> <p>×long の訳抜けは不可。</p> <p>×back の訳抜けは不可。</p> <p>×pit に「ピット」は不可。</p> <p>×the pit of despair と this throws him into の間に目的格関係代名詞の省略があること (this throws him into が the pit of the despair を修飾する形容詞節であること) がわかっていない訳は不可。</p> <p>×this throws him into が修飾している箇所を誤って捉えている訳は不可。</p> <p>×this が代名詞だとわかっていないものは不可。</p>

1. 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
2. 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
3. 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（ウ）（4点満点）

<問題部分>it の内容を明らかにすること。

the idea is to allure the reader to investigate the book in order to decode it.

<例1>

狙いは読者に、表紙のデザインの謎を解くために本をよく読んでみようという気を起こさせることである。

<例2>

表紙デザインの意味を知るために本をじっくり読みたいと、読者に思ってもらうのが狙いなのだ。

区分	配点	具体事例
the idea is to allure the reader to ～ 狙いは読者が～するよう誘うことである	2点	×ideaに「観念」は不可。 ×to allureをisの補語となる名詞用法以外ととっているものは不可。 ×readerに「リーダー」は不可。
investigate the book in order to decode ～ ～を解読するためにその本を探究する	1点	×investigateに「読む」のみ（「じっくり」「よく」という意味合いがないもの）は不可。 ×investigateに「調査する」は不可。 ×in order to decodeが副詞用法（目的）の不定詞だとわかっていないものは不可。
it 表紙のデザイン[手のイメージ]	1点	×itに「それ」は不可。 ×itは単に「イメージ」だけでは不可。

1. 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
2. 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
3. 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【5】－(A) (4点満点)

<問題>

下線部 (A) の具体的な内容を、理由を含めて説明せよ。

We therefore learned not to count on Mr. Sugar.

<例1>

いつも連絡もなく現れ、次にいつ来るかも知れないので、シュガー氏が払う宿泊費を当てにすることはできなかった。

<例2>

ミスター・シュガーは、何週間も来ないし、次にいつ来るかも知れないので、彼がくれる宿泊代は当てにできなかった。

1. 字数制限なし。
2. 次の(1)(2)が必須項目。

(1) 「連絡もなくいつ来るかわからないので」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)

× 宿泊代を当てにしない理由になっていないものは不可。

○ 「連絡なしに現れる」は「連絡もなくいつ来るかわからない」と認める。

○ 「いつ来るかわからない」は「連絡もなくいつ来るかわからない」と認める。

× 「連絡がない」だけでは「連絡もなくいつ来るかわからない」と認めない。

(2) 「シュガー氏が払う宿泊代を当てにしないようになった」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)

× 「宿泊代」に相当するものがないものは不可。

○ 「計算に入れる」は「当てにする」と認める。

○ 「(シュガー氏が払う) お金」は「宿泊代」と認める。

○ 「収入源」は「宿泊代」と認める。

○ We の訳はなくてもよい。

○ Mr. Sugar の訳は不問。ただし、「彼」としか書かれておらず、解答のどこにも名前が言及されていないものは**1点減点**。

【5】－(B) (3点)

(正解) for what seemed a sufficient length of time

- ・ 別解なし。
- ・ 綴りの誤りは1文字でも不可。
- ・ 文頭の大文字は不可。

【5】－(C) (4点満点)

<問題>

下線部 (C) を和訳せよ。

I doubt there has ever been a moment when I felt less inclined to laugh or tell jokes.

<例1>

これほど全く笑う気にも、冗談を言う気にもならなかったことは、後にも先にもなかったのではないかと思う。

<例2>

この時ほど、笑ったり冗談を言ったりする気にならない瞬間が、これまでにあったとは思えない。

区分	配点	具体事例
I doubt ~ ～ことを[かどうか]疑問に思う	1点	×過去時制の訳は不可。
there has ever been ~ ～が今までにあった	1点	○前の項目と併せて「今までに一度もなかったのではないか」と否定で訳しているものも認める。 ○「後にも先にもこの時だけだったのではないか」も認める。
a moment when I felt less inclined to laugh or tell jokes これほど私が笑ったり冗談を言ったりする気にならなかった瞬間	2点	×when 以下が a moment を修飾する関係副詞節であることが理解できていない解答は不可。 ×less が比較級だとわかっていないもの (すなわち、「この時」と比較していることが表現できていないもの) は不可。 ×or が laugh と tell jokes を結ぶ接続詞だとわかっていないものは不可。 ○jokes の「ジョーク」は可。

1. 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
2. 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
3. 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。